

異文化間コミュニケーション 研究法入門

Introduction to cross-cultural communications
§ research method

①異文化間コミュニケーションとは

前期群馬大学教養科目
担当：園田智子（群馬大学留学生センター専任講師
留学生アドバイザー）

1. 常識？

「常識」とは、文化内、グループ内で共有されているものであり、習慣の違いで済むこともあれば、グループや個人のもつ価値観や信念と大きく違っていたり、譲れないものである場合は、重大な摩擦を引き起こすこともある。



例：コーランを破った学生・約束の概念

2. ステレオタイプ

- 「人々や物事、出来事を似たもの同士にまとめることによって感覚を通して入ってくるものを体系化することである。」(Tajfel, 1981)
- 「人々がある特定の集団に抱いている印象、頭の中にある像」(Lipomann, 1922)
- あるカテゴリーに関する過度に一般化、単純化、または誇張された意見、概念

！思いついた言葉を入れてみよう！
日本人は だ。

2' 偏見

- 「感情的な柔軟性のない態度」(Simpson&Yinger)
- 「誤った信念や予見、既成概念に基づいて、ある集団に対して固定的、否定的な態度を示すこと」
→偏見をあらわす行動「差別」
人は、特に自文化と大きく異なる文化集団に対して好ましくない特性を選択的に知覚し、さらに否定的に理解し、その知覚に基づいて敵対的な行動をしがちである。偏見を形成する要因には周囲の人々の影響、教育やマスコミの影響も大きい。

石井敏他『異文化コミュニケーションハンドブック』

異文化間コミュニケーション能力①

●異文化間コミュニケーション能力の7要素

- 敬意伝達能力 (Luben, 1976)
- 価値判断抑制能力
- 知識運用能力
- 感情移入能力
- 役割行動能力
- 相互交流管理能力
- 状況即応能力

※ただし、4や5に長けている人は周りの人間関係やまわりの環境に敏感に反応してカルチャーショックがひどくなることも!?

異文化間コミュニケーション能力②

●●●テキストから

- 1) お互いの考え方を理解尊重する姿勢
- 2) 自分中心のもの見方だけにとらわれない態度
- 3) オープンな心
- 4) 判断を保留する力
- 5) 感情をコントロールする力
- 6) 柔軟な心
- 7) 相手への共感
- 8) 良い聴き手となること
- 9) 違いを楽しむ気持ち
- 10) 自分の失敗を笑うことができる余裕

文化とは？

「知識、信仰、芸術、道徳、法律、慣習、その他、社会の一員としての人間によって獲得される能力や習慣を包含する複合的全体である。」

E.B.Taylor

●●●テキストから

1. 学習されるものである。
2. 集団によって形成されているものである。
3. 普段意識しないものである。
4. 世代から世代へと受け継がれるものである。

コミュニケーションとは？

● 一般的な定義「人間が互いに意志、感情、思考を伝達しあうこと。言語、文字、その他聴覚視覚に訴える身振り、表情、声などの手段によって行なう。」

- 1) 2人以上の人間の間でやりとりが行われる現象
- 2) 意図的なものと非意図的なものがある
- 3) 状況(相手や場所など)に影響される

→コミュニケーションはそのレベルも様々である(対人コミュニケーション・組織内コミュニケーション・マスコミュニケーション・国際コミュニケーションなど)。

●●●テキストから

「私たち人間が自分自身の内部体験や外界からのさまざまな刺激に対して自分なりの意味を見出そうとして努力する創造的なプロセス」

- 個人内(自己内)コミュニケーション
- 個人間(対人)コミュニケーション

異文化間コミュニケーションとは？

● 「文化背景の異なる人々が、自己文化の影響を受けた対人コミュニケーション行動にしたがってコミュニケーションすること」

●●●テキストから

なぜ、異文化コミュニケーションでは誤解が生じるのか。
→相手の行動の原因がわからない。相手の行動について誤った原因の帰属をしてしまうため。

異文化間コミュニケーション研究は何をなしえるのか？

- 1) 文化背景の異なる人々がコミュニケーションするとき、どのように行動するかを明らかにする(記述・観察)
- 2) なぜそのように行動するか、そのメカニズムを明らかにする(説明・理論)
- 3) どうすれば、誤解やコミュニケーション摩擦を避けられるかを提案する(実践・応用)